

# 井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。  
21ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

## 読者の伝言板



国体が地元で開催されますね。私の人生でたった一度の地元開催だと思います。テレビ中継のほうがよく見えるかもしれないけれど、その場で感動を味わいたくて、開会式の入場券を申し込みました。希望者が多数と聞きましたので抽選になるでしょうね(ハ イビスカスさん 44歳・横森)

外出するといつも目につくのがスギツチです。天気に恵まれ、秋田わか杉大会が成功するのを祈っています(安藤悦子さん 48歳・牛島)

6月10日、障害者スポーツ大会・フライングディスクのリハーサル大会のボランティアに参加しました。障害があるとはいえ、精一杯の努力に感動しました。10月は心のもったボランティアをしようと思っています(若林ヤエさん 71歳・東通)

前回の秋田国体の時、小学生で下亀ノ町に住んでいた私は、開会式に竿燈の一員として参加しました。八橋競技場は当日風が強く、たおさないようにしがみつくのが精一杯でした(小澤文義さん 中通)

先日、職場でAED講習を受けました。講習の前は、AEDを素人が使うなんて大丈夫なのか、危険はないのかなど不安がありました。講習後は、いざというときは率先して人助けできればという自信に変わりました。使い方もとても簡単で、いろいろな救助法も教えてもらい、とてもいい経験ができました(柴田美和子さん 40歳・新屋)

毎日、真夏日の暑さになってきました。ウオーキングをしているとき、たくさん美しい花を見て楽しんでいきます。田んぼも緑が日1日と濃く、のびのびと育っています(斎藤タマ子さん 73歳・將軍野)

今年はずっと暑い日が続きそうです。しかしその分、今年のスイカやトウモロコシは、例年にないほど甘く実るんだらうなあと今から楽しみです!(つばめちゃんさん 26歳・桜台)

## 地域のお話 おしえて!!

### 泉地区の子育てサークル「すこやかキッズ」 自由に、楽しく遊びましょ!



活動は毎週火曜日の午前10時～11時30分、泉児童センターで(7月24日～8月28日は夏休み)。詳しくは泉地区主任児童委員の湯浅さんtel(863)6065

就園前のお子さんとママが気軽に遊べる育児サークル「すこやかキッズ」。泉地区の民生児童委員が中心に運営しています。毎週10数組の親子が訪れ、広い児童センターの中は、三輪車やかけっこ、積み木、絵本など好きなことをして遊ぶ子どもたちの歓声であふれています。一緒に来たママたちも楽しいおしゃべりに花を咲かせています。楽しい時間を過ごすだけでなく、「子どもの人見知り直ったんですよ」という、うれしい声も!

会員登録や会費がいらぬサークルなので、買い物のついでにも寄れます。「たまにはおしゃべりしたいな～」と感じている子育てママ、一度気軽にのぞいてみませんか?



子どもたちは絵本に興味津々!

写真・文/幸村美保さん(市政テレビ番組市民レポーター)  
広報あきたの編集に挑戦しました。その様子は7月下旬の市政テレビ番組で放映します。



# おしゃべりかわらばん



秋田大学よさこいサークルよさとせ歌舞輝の佐藤憂紀さん(秋田大学4年)

## ヤートセ最高です!

大学生が始めたヤートセ秋田祭に、大学生チームで参加できたのが、とてもうれしいです。たくさんのお客さんの前で踊れて最高です。笑顔も出せて1,000点満点! 来年からは社会人チームに入っ、ずっと参加し続けます。

## 目標はエンジニア

8月上旬まで市内の企業で基本的な機械の使い方などを勉強します。夢はエンジニアになること。秋田を訪れるのは2度目ですが、みなさん親切にしてくれるので安心して勉強できます。ダンケ!(ありがとう)



ドイツ・パッサウ市から、企業研修で来秋したマーク・ケルンベルガーさん

## 秋田フキにびっくり

秋田フキの本物を見るのは初めて。私より大きくてびっくり。カマ切ったんだけど、刃がガタガタして大変だった。すごく力を入れて刈り取ったんだよ。刈ったフキに毛虫がくっついていて、またまたびっくりしちゃった。



秋田ふき粉会主催のフキ刈り体験会に参加した加賀谷紗織さん(千秋)

## 製造業の未来を造る

重機部品の金型の元になる、木製の鋳造用模型を造っています。最近、型を造る職人が減っていますが、講演や座談会で学んだことを活かし、モノづくりと技術の継承、そして秋田の製造業の発展に頑張ります。



モノづくり座談会に参加した(有)池田木型製作所専務取締役の池田直人さん



広報テレビの市民レポーターとして広報紙編集を体験した幸村美保さん(泉)

## 貴重な体験ができました

普段、読者として接している広報あきたに制作として関わることができて、面白い経験になりました。初めての紙面作りは、取材や編集など想像以上に難しく緊張しましたが、とても新鮮で楽しかったです。



牛乳販売店などで構成する秋田県メグミルク会が、大森山動物園にAED(自動体外式除細動器)を寄付してくれました

わが家の小さな畑から長さ35センチくらいの長いキュウリを1本収穫。あまりの長さにびっくりしました。子どももころ、キュウリにみそをつけて食べたのを思い出しました。昔なつかしい味がしました。鷲谷正栄さん(66歳・茨島)

係からひとこと  
もうすぐ、秋田の夏の風物詩「竿燈まつり」が始まります。富山市からの派遣職員は、去年初めて竿燈を見て、祭りの熱気や見事な技に鳥肌が立ったのを覚えています。  
町内で結束して練習するところも竿燈まつりのすばらしいところですよ。技の上達のために切磋琢磨している姿、これこそ地域の絆! ずっと受け継いでもらいたいです。  
さて、私にとっては今年、広報課で最後の竿燈の取材。カメラ越しに「竿燈王子」を見つけに、いざ出陣です!  
(中川)



## 活発な環境活動を表彰

6月8日、秋田市環境活動推進協議会(事務局・環境企画課)は、積極的に環境活動に取り組んでいる仲谷地町内会子ども会(集団回収部門)、御所野学院中学校・高等学校、秋田市環境活動寺内地区協議会(ボランティア清掃部門)の3団体を表彰しました。



## 不法投棄をなくそう

国体に訪れる選手たちに、秋田のすばらしい環境をアピールしようと、不法に投棄された廃棄物の一掃作戦が行われました。飯島の飯岡山では市民7人がボランティアとして参加。タイヤ、自転車など5トンのごみが集まりました。びっくりです!